

06

Vol.27

第16期

2025年

在住協通信

JTA 一般社団法人 日本在来工法住宅協会
Japan Traditional Wooden Home Association

伝統の技術を未来へ。

今月号の見出し

- ・会員インタビュー
- ・職場の熱中症対策の強化について
- ・在住協事務局便り
- ・新規会員のご紹介
- ・お知らせ
会員集会開催
- ・第16期5月度理事会開催報告

Interview File no.13

会員インタビュー

兵庫地区支部長
株式会社伊井工務店
代表取締役
伊井洋輔 さん

有限会社創築
代表取締役
橋村 勝 さん

有限会社
創 築
株式会社
伊井工務店

「創築」創業者で義父の橋村さん（左）と今年事業を継ぐ伊井さん（右）



在住協通信のナビゲーター
在住 協子です！

Zaiju Kyoko's
Pickup!

伊井さんこだわりの大工道具を見せていただきました。手製の「掛矢」は頭部に櫓、湾曲した柄にはグミ材を使用。「玄翁」は頭部が地金と鋼の溶着構造で衝撃が手に伝わりにくく、柄にも同じグミ材が選ばれています。伝統的な大工の知恵と技が、現代に息づいていることを実感しました。

おすすめの愛用道具



(2025年5月20日撮影)

敬う心がつなぐ建築一家の承継のかたち

運命の出会いから職人道へ

伊井さんの大工への憧れは、幼稚園時代に屋根仕舞いをする職人の姿に「カッコいい！」と目を奪われたことから始まります。職人との接点がない中で、夢を抱き続けていた伊井さんは、15歳で現在の奥様と運命的な出会いを果たします。ちょうどその頃、義父の橋村さんは、市場の変化を捉え、野丁場の下請工事から住宅リフォーム業へ事業を転換されていました。普通高校に一旦進学したものの自分の進む道を模索していた伊井さん。職業訓練校への進学を決意し高校を休学した時に、お義父様から「現場を手伝って見ないか」と声をかけられ、職人道への第一歩を踏み出します。

家族で紡ぐ『創築』の未来

「有限会社創築」は、四半世紀にわたり地域の方々と共に歩んできました。伊井さんの「創築を継いでみんなで一緒に働きたい」という申し出に、お義父様は当初驚かれたそうです。「事業承継を意図していたわけではなく、ただ愚直に好きな仕事に打ち込んできました。それがこんな形で受け継がれ、嬉しいですね。」とお義父様は語ります。仕事への真摯な姿勢が、自然と次世代へ引き継がれていく。その喜びが穏やかな笑顔から確かに伝わってきました。

教えを受け継ぎ棟梁へ

現場で過ごす日々の中で、お義父様から「顧客や関係者への心配り」「現場を常に整理整頓すること」「目の前の仕事に誠実に全力で向き合うこと」という、職人としてはもちろん、一人の人間として最も大切な教えを受け継ぎました。

職業訓練校で大工技能士の資格を取得した伊井さんは、わずか23歳で「株式会社伊井工務店」を創業。以来17年、家族との強固なチームワークで、全国各地の難易度の高い現場も手がける信頼の工務店へと成長。お義父様、伊井さん、義弟のお二人が、互いの技能を深く尊敬しあう姿が、とても印象的でした。

次の世代へ『創築』ファミリー



義弟の樹さん（次男）、雄貴さん（長男）、奥様の沙緒里さん。皆で『創築』を支えます。（写真左より）

職場の熱中症対策の強化について

6月1日より労働安全衛生規則が改正されました

改正により、事業者が熱中症対策を罰則付きで義務付けられるようになりました。ポイントをまとめてご紹介します。



1. 義務化される具体的な内容

- ①体制整備 熱中症の自覚症状や疑いのある作業従事者を早期に発見し、報告するための体制を構築する
- ②手順作成 熱中症の疑いがある作業従事者を見つけた場合、作業離脱、身体の冷却、医療機関への搬送など、症状の悪化を防ぐための手順を定め、周知する
- ③関係者への周知 熱中症対策の内容を関係するすべての作業従事者に周知する

2. 義務化の対象となる作業

WBGT値（暑さ指数）が28度以上、または気温が31度以上の環境下で、連続1時間以上、または1日4時間以上作業が行われる場合。

3. 罰則

実施義務違反者は、6ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金が科されます。

4. 対応方法

下記の厚生労働省の資料を確認し、改めて、早期発見体制の構築・発生時の対応手順の確立・作業従事者への周知の徹底をお願いします。

職場における熱中症死亡事故の傾向

ほとんどが初期症状の放置・対応の遅れ

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5～6倍
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念

早急に求められる対策

死亡に至らせないための適切な対策の実施が必要

- ・基本的な考え方



▼職場における熱中症対策の強化について



STOP熱中症クールワークキャンペーン▲



在住協は、今年も『熱中症ゼロへ』プロジェクトに参画し、熱中症で亡くなる方の「ゼロ」を目指し、熱中症対策の啓発に努めています。

在住協事務局便り 曾我の“建設業で働く女性特別座談会”訪問記

株式会社アンドパッドが主催した、建設業で活躍する女性7名の座談会に参加しました。リアルな体験談や具体的な仕組みづくりについて紹介され、現場での働き方や、支える家族・同僚との関係性まで、多様な視点が集まることで「これからの建設業のかたち」が見えてくる機会でした。当日の様子は、「ANDPADイベントレポート」をぜひご一読ください。



“Women” AND Construction 特別座談会

We are members!



新規会員のご紹介

- ・合同会社クマクラ工業様（栃木県）
- ・東成建設株式会社様（東京都）
- ・KFケミカル(株)安全協力会様（4件）
- ・南大阪地区安全協力会様（5件）

新規入会の皆様
末永くよろしくお願い致します

お知らせ

2025年度 会員集会開催案内

日時 6月25日（水）

プログラム 13時半開場、受付開始

- 14:00 開会
- 14:10 グループ討議
- 15:30 総会
- 15:50 玉木理事長ご挨拶
- 16:00 在住協アワード
- 16:45 会員交流会
※原則として会費事前申込制（6,000円/人）です

場所 TKPガーデンシティ
PREMIUM品川高輪口

東京都港区高輪4-10-18 京急第一ビル 4階
※今までの場所とは異なります



締切日を延長しました！
最終締切：6月9日（月）
お申込はこちらから▶



第16期 5月度理事会開催報告

5月28日に第16期5月度理事会が開催されました。第15期事業報告書・計算書類、第15期定時社員総会の内容について審議され満場一致で可決されました。

これを受け、6月26日に会員集会定時社員総会が開催されます。



お友達追加をお願いします！



発行元 一般社団法人 日本在来工法住宅協会

Japan Traditional Wooden Home Association
〒108-0074

東京都港区高輪2丁目14番18号 グレイス高輪207

TEL：03-6408-0285 FAX：03-6408-0286

e-mail：zairai@jtha.jp HP：https://jtha.jp/



(2/2)

FAX講読ご利用中のみなさまへ

1. カラーで読みやすいメール講読へ変更されませんか？貴社名・ご担当者様名・メールアドレス明記の上、zairai@jtha.jp までご連絡ください。
2. 配信停止をご希望の場合は、会社名及びFAX番号、「通信配信停止希望」とご記入の上、FAXでご連絡下さい。ご連絡のタイミングにより次月も届く場合がございます。予めご了承下さい。



2025年6月吉日発行